

<p style="text-align: center;">仙台市環境影響評価審査会 議事録（要旨）</p>	
■日 時	平成21年5月13日（水）午前10時00分～12時00分
■場 所	仙台市役所本庁舎 第5委員会室
■出席委員	江成委員 風間委員 苦瀬委員 境田委員 鶴見委員 永幡委員 溝田委員 持田委員 安井委員 山本委員 横山委員
■欠席委員	武山委員 平吹委員 宮原委員
■事務局	坪田環境局長 小林環境部長 小林環境都市推進課長 川辺環境企画課長 石井環境対策課長 （環境都市推進課環境調整係）
■事業者1	仙台市立病院
■事業者2	三菱地所（株）
	<p>【次第1 開会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境局組織改正報告</li> <li>・ 坪田環境局長挨拶</li> <li>・ 審査会成立報告</li> </ul>
事務局	<p>【次第2 資料確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料確認</li> </ul> <p>審議（2）について希少な動植物の生息場所に関する情報が含まれるため、公開・非公開についての審議もお願いします。</p>
江成会長	<p>【次第3 審議】</p> <p style="text-align: center;">《公開・非公開の確認》</p> <p>原則公開。ただし、個人のプライバシー及び希少な動植物の生息場所に関する事項があれば非公開とする。</p> <p style="text-align: center;">→（各委員了承）</p> <p style="text-align: center;">《一部非公開の決定》</p> <p>事務局から、泉パークタウン第6期計画の手続き再実施の審議は非公開としたいとの提案がありました。非公開とするということによろしいか。</p> <p style="text-align: center;">→（各委員了承）</p> <p style="text-align: center;">《署名委員の確認》</p> <p>議事録署名委員 安井委員に依頼</p> <p style="text-align: center;">→（安井委員了承）</p>
江成会長	<p>【次第3 審議（1）】</p> <p>まず、市立病院移転新築事業の方法書第1回目の審議です。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（市立病院移転新築事業方法書及び事前調査書が平成21年4月22日に提出され、4月27日付で諮問していることを報告）</p>
事業者1	（資料1－1から1－3について説明）
江成会長	<p>それでは、委員の皆さまからご質問などありましたらお願いします。</p>

山本委員	環境影響評価ということではないかもしれないが、移転の場所をここに定めた理由をお聞きしたい。
事業者 1	医療機関、中でも救命救急センターの仙台市全体での配置バランスを考えて移転先をあすと長町地区としました。東北大学病院，仙台医療センター，仙台市立病院が救命救急センターを担っているの、北の方に新たな救命救急センターの配置は難しいということです。また、現在の状況をみると、太白区・若林区の患者さまが6割程度占めているという状況があります。それと今現在通われている患者さまの通院の利便等も考慮してあすと長町地区への移転を決定しました。
山本委員	<p>大変素朴な質問になるが、病院は体の弱った方が24時間365日滞在する。通常の住宅とも庁舎や企業の建物とも違うわけなので、周囲に及ぼす影響も当然だが、病院の中にいる方たちにとって建物自体が安全で、なおかつ心地よく過ごせるかを考えなくてはならない。すぐ横の鉄道と大きな幹線道路に挟まれた所にあるというのは、いくら防音の措置をしても快適とは言えない環境の場所ではないか、というのがまずひとつ疑問です。</p> <p>第2番目としては、確かに配置上のバランスで南のほうに必要だとは思いますが、長町地区は大地震のときにかなり危ない地区ではないでしょうか。建物自体は耐震構造であったとしても、その立地しているところ自体が何かあったときに、安心して来られるような非常に強固な地盤の上に立っているのかというような点について心配することはないという根拠を示していただければ安心できます。</p>
事業者 1	長町利府断層からは若干は、ずれています。当然、新病院については免震構造にします。今年度の基本設計で、地盤調査も行った上で対策を講じていきたい。
江成会長	騒音の問題はいかがでしょうか。
事業者 1	東北本線・新幹線がありますが、騒音の問題も（建物の）構造上の問題であり、設計の段階でチェックしていきたいと考えています。
持田委員	病院は大変エネルギー消費が大きな建物なので地球環境負荷が非常に大事な要因だと思うのですが、評価項目の中に温室効果ガスを入れる必要はないのでしょうか。
事業者 1	工事の影響もちろん、供用開始後においても項目として入れて、前病院とも比較をしながら検討していきたい。
持田委員	（方法書）157 頁の一覧表の（供用による影響のうち）自動車・鉄道等では温室効果ガスが評価項目に入っているが、施設の稼動（空調・井水）では対象になっていない。騒音などがあり窓を開けられないと、いっそう冷房用のエネル

事業者 1	<p>ギー消費が増えるので、この辺をよく考えて欲しいと思う。以前、医療・福祉施設のヒアリングをしたことがあるが、作り方を間違えてとんでもなくエネルギー消費が大きくなる場合がある。その辺をよく考えていただくといいと思う。また、こういう複合的なところに施設を建てるのはめったにないチャンスなので、他のビルと組み合わせたのコージェネレーションシステムとかエネルギーの面的利用等いろんなことが出来る場所であり、設備的にも非常なチャレンジが出来そうな気がします。</p>
江成会長	<p>エネルギー関係については、コージェネレーションシステムなどを含めた環境負荷の低減や効率化を図れるような供給ということを計画の中に盛り込んでおり、設計の段階でそれも具体的に検討していくという形で考えています。</p>
事業者 1	<p>評価項目にはあげないのか、という質問ですが。</p>
山本委員	<p>記載するようにいたします。</p>
江成会長	<p>他のところ(工事による影響では使用コンクリートなどへの配慮、存在による影響での樹木伐採、供用による影響など)も空欄になっているので、これも併せて総合的に（炭酸ガス排出量を温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルなどを参考に計算して)評価をしていただければと思います。</p>
苦瀬委員	<p>施設の稼働ということ言えば、空調もヘリポートや立体駐車場等々全部含まれる。これらを施設の稼働ということに分けているのは、他の項目については色々あるのだろうが、二酸化炭素ということ言えばすべて係わってくるので、是非評価項目としての選定をするということをお考えいただきたいと思います。</p>
風間委員	<p>私もまったく同感なので是非お願いしたいと思います。パワーポイントの 41 頁の説明だけで、(二酸化炭素が評価項目に)入ってると思ってしまったのですが、(方法書) 157 頁を見ると肝心なところに丸が入っていない。分かりにくいので、是非中身を分かるように説明していただけるとありがたいと思います。</p> <p>先生方皆さんがおっしゃったように、病院は特にお湯の使用など熱の使用が多いこともあり、エネルギーの使用が多いので工夫の仕方でものすごく省エネ効果を出せる。正に市の進んだ取組を示して効果を上げるという重要な例になると思うので是非よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>41 頁の図（パワーポイント）では、廃棄物の残土、水利用のところに丸がありますが、方法書の方にはその部分の記述が欠けています。</p> <p>病院は水をたくさん使うと思いますが、地下水の利用など上水の利用がどうなっているのかについても示していただきたい。地下水利用については、地盤沈下も促進する可能性があります。この長町の地区は、台地から低地に入るところでしかも川の近くということで、軟弱地盤が厚く堆積しているはずです。</p> <p>方法書の 46 頁を参照すると、この地域は低地であり、川が蛇行して流れて</p>

	<p>そこに旧河道が入り組んでいる様子がわかります。このような場所は一般的に液状化の可能性も高い場所です。建物の耐震化をうたって建て替えるのに、宮城県沖地震のときに被害を受けてしまったのではおかしいので、重々注意してやっていただきたいと思います。</p> <p>また、（方法書）50 頁の地盤収縮量の縦軸は何を基準にした収縮量かわかりません。また測定局の住所の記述だけでは、事業地からの距離がわからないので、そのあたりもわかるような方法書にしていだけたらと思います。</p>
江成会長 事業者 1	<p>今の件について、ご説明をお願いできますか。</p> <p>地盤沈下測定局の位置図は準備書の段階で付け加えるとか、わかるものにしていきたいと思います。経年的な変化についてもそこで説明をしたいと思います。</p>
江成会長 事業者 1	<p>今説明できませんか。</p> <p>方法書に載せているのは出来るだけ最新の時点のものです。気象などほかのものも、統一して過去5年間ということで経年変化を載せています。もっと長い年数が必要であれば、ご助言ご指導いただきながら対応したい。</p>
風間委員 事業者 1	<p>収縮量のゼロというのが一体いつの時点かを聞いているのですが。</p> <p>確認出来ておりません。確認したいと思います。</p>
江成会長 事業者 1	<p>日の出測定局と蒲町測定局は予定地からどれぐらい離れたところなのか。</p> <p>計画地から何mというところまでは具体的には調べていませんでした。</p>
事務局（環境 調整係長）	<p>今日この場では明確にならないので、次回までに事業者と調整してお示しさせていただきますと思います。</p>
江成会長 永幡委員	<p>よろしくをお願いします。</p> <p>騒音ですが、方法書では計画地は騒音に係る環境基準についてはC類型、自動車に係る要請限度については商業地域に該当するから c 区域に当たると書いてありますが、それと比較して環境基準に合っているという評価をしてしまうと、中にいる人が本当に好ましい環境に居るかという視点ではおそらく違うと思う。たしかに類型としてはこれに当たるけれども、これで評価すべきなのかどうか、ということを考え直す必要があるのではないかと思います。</p>
江成会長	<p>準備書の段階で指摘すべきことなのかもしれないですが、今の段階で考えておいていただいて、方針を提案していただくといいかなと思います。</p>
持田委員	<p>通常のアセスメントはそれが出来たことによって周辺の環境にどういう影響を与えるか、というようなことがポイントですが、病院の場合ですから入院患者さんとかそこに来た人に対してどういう影響を与えるか、そういった視点からの見方も必要ではないかということだと思います。</p> <p>風害のアセスメントを数値モデルでやるということで、こういう方向に行くことは大変好ましいと思っている。しかしやり方によってどうにでもなるので、ちゃんとしたやり方でやること。やり方を審査会の場で資料として見せていた</p>

<p>事業者 1 山本委員</p>	<p>だけたらと思います。建築学会が数値計算による風環境シミュレーションのガイドブック（正式名称：市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブック）を作っているの、このガイドブックに記載されたガイドライン（同書,p.156-163）に則ってやっていただければおかしいことにはならないと思う。十分留意していきたいと思います。</p>
<p>江成会長 事業者 1</p>	<p>地盤沈下測定局以外にも大気汚染などの数値を出している測定局の位置も結構離れています。予測・評価をするときにその点をどう解決するのかということも対応を考えておいていただけると大変ありがたいと思います。</p> <p>もうひとつは供用後の問題ですけれども、この地域は供用後に車の交通量が飛躍的に増えるし、周辺にもいろんな施設が出来て、ということが当然あるだろうと思われる。それをどうやって予測するのか、是非きちんとした評価をしていただきたい。</p> <p>それからもうひとつ。敷地の南側の方は公園側に位置しているから杜の緑のゾーンを作っている。しかしながら鉄道と道路に面したところはまったくそういう配慮がない。むしろそちらにこそ緑のカーテンのような形をつくれば、騒音の問題などいろんな問題がある程度緩和されるのではないかと思います。この点は素人ですので、どなたかフォローをしていただければ。市の側でも考慮して検討していただければ、と思います。</p>
<p>安井委員</p>	<p>その辺については、いかがでしょうか。</p> <p>南側に杜の広場（約 15,000m<sup>2</sup>）があるので、これと一体的な緑の景観をつくるということで計画をまとめています。その他に地区計画で敷地内に 10%程度の緑の配置が定められているので、設計の段階でそういった配置等も検討していきたいと考えています。</p> <p>交通量の話では将来交通量はしっかりやらなくてはいけないというのは認識しています。院内環境の問題はどこまで出来るかというのはありますが、今回は事業としても配慮を欠くわけにはいかないと考えています。</p>
	<p>騒音の問題では、断熱、気密など地球環境に配慮した建物にすると同時に防音性能も上がるので内部は非常に静かになります。新幹線の騒音を防げるかどうか断定できませんが、かなりの防音になると思います。</p> <p>窓については、高層の病院の場合にはほとんど窓が開かないような状況になること、また、都市の暗騒音の問題がありますから、利用者が窓を空けないのではないかと思います。</p> <p>もうひとつ。院内環境の空気状態、温度や音の環境もさることながら、植栽についてです。予定地は現在荒涼としております。私が以前、（現）市立病院に入院していたときには、南側にあった非常に古いお宅の歴史を経た本当にきれいな庭を眺めることができました。入院者は外出出来ないの、何か眺めるものが必要です。（新病院も）平成 26 年までには緑化もすると思いますが、小さな木ではなく出来るだけ大きくなった木を植えるとか入院患者が和むような屋外の風景をつくるようにしていただきたいと思います。</p>

事務局（環境調整係長）	<p>少々話を戻しますが、先ほどのような指摘の中で、離れた測定局のデータしか出ていないというご指摘がありましたが、方法書は前段の部分は別冊でつけています。事前調査内容をそのまま持ってきており、事前調査というのは方法書の作成に入る前に、主に文献調査、既存の資料を基に地域の大まかな概況を把握して、事前に配慮するものを大まかにつかみましようという物です。たまたまこの事業地の近くには既存の資料がなかったということであり、当然今後環境影響評価の手続きをやっていく上では、方法書の後段の部分に記載されておりますとおり、必要な部分の現地調査などで補いながら予測評価をやっていくということになっております。</p>
江成会長 持田委員	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p> <p>仙台でも今後はこういう大規模な開発をすることが余り出来なくなってくると思います。この敷地は、景観や自然との調和に配慮した開発のモデルを示すのに非常に絶好の場所だと思います。メディアテークが出来てあの周りが変わっていったように、ここに上手く自然と融合したひとつの建物が建つことにより、このエリアが十年二十年かけて変わって行くきっかけになるといいと思います。また、これだけ近くにある広瀬川の存在を上手く使えないかとも思います。とにかく景観や周辺との調和をとおり一遍ではなくよく考えて、楽しい場所にさせていただくのがすごく大事だと考えています。アセスメントの中でそれをどう評価するかというのは難しいかもしれないので単なる要望になります。</p> <p>説明資料に「周辺住民や患者が自然を感じることが出来る癒しの場」とあるが、この病院は開発地区の中のかかなり重要な要素なので、周辺住民だけでなくもっと広い範囲に住む市民がこのエリアに吸い寄せられるような、単に病院ではなくて公園的な、このエリア全体の計画の中でこれを置くことによって自然との調和とかそういうことが進むような形を是非考えて欲しい。もちろん病院の中に人をどんどん入れるわけにはいかないとは思いますが。</p>
事業者 1	<p>あすと長町土地区画整備事業の地区計画が策定されており、その中に 10% の緑地の配置や、オレンジ系統のビルで統一するとか、そういった基本的な計画が定められているので、そういったことも踏まえて地区と一体となった景観作りをしていきたいと考えています。基本設計の段階でそれも考えて行きたいと考えています。</p>
境田委員	<p>先ほどの供用後の大気環境のことと今の議論を重ねて考えますと、供用後の地下鉄駅からのアプローチに工夫があるといいと思います。入退院は当然車に頼らざるを得ないでしょうけれど、通常の通院に地下鉄を使って行こうかなという気にさせるような、そういう造りがいいと思います。それが供用後の車の渋滞等を緩和することになると思います。</p>

事業者 1	<p>新病院は地下鉄長町一丁目駅から約 250m、歩いて 4 分程度です。今の病院は地下鉄五橋駅からすぐ一步踏み出すと病院というような好位置ですが、新病院の移転先についても他の病院に比べるといい位置かなと考えております。けれども、今に比べて若干不便になるということで、交通アクセスの利便をというご意見を市民の方からかなりいただき、それについては庁内対策の会議等を設けて全市的に取り組んでいくということで考えています。</p>
江成会長	<p>あすと長町に対する委員会とかはまだあるんでしょうか。既に決まったので、決められたことに対して対応するということだけで、あすと長町全体をこれから見直すとか、あるいはというふうな話をする場というのは今はもうないのでしょうか。</p>
事務局（環境調整係長）	<p>確認はしていないのですが、街づくりのマスタープランをつくったところで、街づくりの方向性としてはそこで一度完結しています。その後市立病院の話もあり若干の修正はありましたが、都市計画の地区計画を策定する段階でかなり具体的なところまで街づくりのイメージというのを作りあげてきて、今現在に至っているという状況です。</p>
江成会長	<p>内部では土地利用に関して具体的に何を誘致するのかというような検討会はまだ続いていたかと思いますが、街づくりの方向性は地区計画を定めたところで全エリア固まっており、それに則って街づくりを進めているというふうに理解しております。なお、詳細については次回までに確認させていただきます。</p> <p>あすと長町のエリアの中でもかなり大きな部分を占めることになるので、エリア全体との関係等も是非いい方向に進めていただきたいと思います。それからもうひとつ、広瀬川との係わりというようなことも出てきたのですが、距離的には近いのですが、間に住宅地が入っていますね。ただ、広瀬川のこの辺のあたりは国交省でもそれなりに河川整備を考えていますので、そういったところを利用しながら、入院患者さんも病気によってはまったく出られないということでもないでしょうから、上手く利用できるような仕組みが考えられると良いと思います。是非、国交省などともコンタクトしてみてもらえば良いと思います。</p> <p>では、次の案件もありますので、他に追加のご質問などありましたら、後ほど事務局のほうに提出お願いしたいと思います。</p>
江成会長	<p>続きまして審議事項の 2 番目、泉パークタウン第 6 期計画の環境影響評価手続きの再実施についてですが、これについては非公開といたしますので、委員・事務局・事業者以外は退出をお願いします。</p>
事務局	<p>【次第 4 事務連絡】</p> <p>（退出の前に退出する方に対して事務連絡）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回案件についての質問事項・ご意見は 5 月 22 日（金）までに事務局まで</li> <li>・ 次回以降の審査会は市立病院の案件、概ね 3 回の予定</li> <li>・ 上半期の審査会の日程は 7 月 3 日、8 月 17 日</li> </ul>
	<p>《傍聴者等退出 以後非公開》</p>

	それでは後は事務連絡ということでお願いします。
事務局	【次第4 事務連絡】 (再度事務連絡)
事務局	【次第6 閉会】  《審査会終了》

議事録署名人

平成 年 月 日

仙台市環境影響評価審査会会長

氏名 印

仙台市環境影響評価審査会委員

氏名 印